

■鷹栖町まち・ひと・しごと創生総合戦略【第2期】（素案）パブリックコメントご意見と町の考え

No.	該当	ご意見	町の考え	計画修正
1	-	<p>数年前まで浅草「まるごと日本」にて町紹介されていました。</p> <p>鷹栖町に限らず出展ほぼ全ての町村が掲げるのは「子育てに優しい」、「新規就農に手厚い助成」、「自慢の農産・水産加工品」でありどの街にも正直差異や新鮮さを感じる内容ではありませんでした。正直申し上げて、未来志向の人口増や産業強化が期待できる内容では無いというのが第一印象です。</p> <p>よく言われるように民間では『投資→利益回収』が当たり前の流れであります。地方公共団体においては『投資→税収増』に繋げないといけません。また、その整備を行うのが役所です。農産加工で利益出ていますか？実際「オオカミの桃」頼りは厳しいのでは無いですか？トマト農家の甘えの温床となっていないませんか？売る気があるならもっともっと販売チャンネルを整備しませんか？もう限界感じているのでは無いですか？</p>	<p>ご意見ありがとうございます。また、当町が出展しておりました「まるごとっぽん」をご利用いただき、重ねて感謝申し上げます。</p> <p>ご指摘いただきました内容は受け止めつつ、一方で「II-3 第2期における新たな視点」がございますとおり、目先の人口増にとらわれて長期的な利益や可能性を失うことなく、地道でも地域が有する資源に目を向け、持続可能なかたちでの地域の活性を目指していきたいと考えております。</p> <p>また、ご指摘いただきましたような、「オオカミの桃」をはじめとする地場産品につきましては、現状がベストという認識はございません。直面する課題を解決していくことで、貴重な地域資源により一層磨きをかけていくことが大切だと考えております。地域の資源は「限界」のような状況ではなく、磨き上げることで輝きを放つ大きな可能性を有するものであると認識しております。</p> <p>また、既存資源という視点からは、第2期では特に新たな産品開発ばかりにとられるのではなく、「III-Plan7」がございますとおり、まちが有する農村資源を最大限に生かしていくという考えのもと、高等教育機関との連携や「Plan5」「Plan6」の新たな人の流れの関わりとの横断的な施策展開を重視し、地域経済の活力や雇用の機会を増やしていきたいと考えております。</p>	-
2	-	<p>個人的なご提案ですが、若者を集め経済活動を活発化させるには充実した高齢者施設を準備し、首都圏・都市部の高所得者を誘致、それを介護する若者に公務員並みの給与、それに伴った商業施設の整備、施設では町農産品を用いた食事提供などをすることで全ての産業が回ります。施設は民間運営で利益、施設職員は公務員並みの収入、商農工業の仕事増が見込め町の税収増、人口増につながると思われま。</p> <p>都市部の高齢者には都市部では味わえない「田舎暮らし」や近隣市町村や空港へのアクセスの良さは大きなメリットです。施設に入った高齢者の子・孫世代にとっては今まで無かった田舎ができる感覚で来町機会が生まれ、移住者の候補となり得ます。</p> <p>「井の中の蛙」となって町の中だけで完結するような行政では破綻するのみです。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。ご指摘いただきましたとおり、圏域を含めた本町の住環境やアクセスは、移住を検討される方にとりましても大きな魅力のひとつであると考え、強みとして生かしてまいりたいと考えております。</p> <p>また、現時点では、ご意見にございますような、所得の高い高齢層の方を特にターゲットとして絞った移住促進、そのための施設整備について、進める考えはございません。</p> <p>「Plan5」「Plan6」や「分野横断的な重点目標」の記載主旨でございますとおり、「ひとの流れ」の創出に関しては、地域との調和を前提として、新たな地域参画や地域活動にとって良い刺激となる、相乗効果をもたらしてくれるものであるということに重視します。経済的な効果はもちろんのこと、長期的なまちづくり・人づくりへの投資という視点を持ち、持続可能な地域の形成につながる移住促進の取り組みを推進してまいります。</p>	-